



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1976 URL http://www.meisei-kogyo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 備後 和秀 TEL 06-6447-0275  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月22日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,510	6.8	2,385	△4.1	2,546	2.9	1,637	△4.9
29年3月期第2四半期	23,883	13.5	2,487	15.4	2,473	10.7	1,722	16.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,786百万円 (25.9%) 29年3月期第2四半期 1,419百万円 (8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.59	31.54
29年3月期第2四半期	33.06	33.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	58,516	42,857	72.8	821.36
29年3月期	58,221	41,473	70.8	795.28

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 42,580百万円 29年3月期 41,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	0.6	5,000	△10.7	5,200	△8.9	3,450	△12.0	66.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	59,386,718株	29年3月期	59,386,718株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	7,545,350株	29年3月期	7,574,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	51,822,378株	29年3月期2Q	52,090,610株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) 受注及び売上の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復が続く一方、米国の政治・経済動向やその他海外状況の懸念もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、建設工事業、ボイラ事業ともに増加しましたが、特に建設工事業のLNG関連工事の増加により28,160百万円（前年同期比14.7%増）の計上となりました。売上高は、建設工事業のLNG関連工事が順調に進捗したことにより、25,510百万円（同6.8%増）の計上となりました。

また、売上高は増加いたしましたが、営業費用の増加等により営業利益は2,385百万円（同4.1%減）となり、経常利益は為替差損の影響等がなくなったこともあり2,546百万円（同2.9%増）、法人税等の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は1,637百万円（同4.9%減）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①建設工事業

LNG関連工事等が順調に推移し、売上高は23,547百万円（前年同期比8.6%増）の計上となりましたが、営業費用の増加等によりセグメント利益は2,317百万円（同2.6%減）の計上となりました。

## ②ボイラ事業

国内大型案件の減少により、売上高は1,963百万円（前年同期比10.8%減）の計上となり、セグメント利益は19百万円（同67.2%減）の計上にとどまりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は37,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円減少いたしました。主な要因は現金預金の増加3,336百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少4,052百万円であります。固定資産は20,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ841百万円増加いたしました。主な要因はその他（投資その他の資産）の増加1,025百万円、有形固定資産の減少237百万円であります。

この結果、資産合計は58,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ294百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は11,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円減少いたしました。主な要因は短期借入金の増加756百万円、未成工事受入金の増加729百万円、支払手形・工事未払金等の減少1,954百万円、買掛金の減少93百万円であります。固定負債は3,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円減少いたしました。主な要因は繰延税金負債の増加53百万円、長期借入金の減少792百万円であります。

この結果、負債合計は15,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,089百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は42,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,384百万円増加いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の増加1,637百万円、その他有価証券評価差額金の増加114百万円、剰余金の配当による減少414百万円であります。

この結果、自己資本比率は72.8%（前連結会計年度末は70.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を勘案した結果、平成29年5月10日付「平成29年3月期 決算短信」において発表いたしました数値を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	50,000	5,000	5,100	3,400	65	62
今回修正予想 (B)	52,000	5,000	5,200	3,450	66	56
増減額 (B - A)	2,000	—	100	50	—	
増減率 (%)	4.0	—	2.0	1.5	—	
前期実績	51,715	5,596	5,706	3,919	75	45

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,707	17,044
受取手形・完成工事未収入金等	21,239	17,187
有価証券	56	50
未成工事支出金	2,277	2,300
商品及び製品	213	278
原材料及び貯蔵品	232	254
繰延税金資産	270	268
その他	480	540
貸倒引当金	△23	△15
流動資産合計	38,455	37,909
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,435	9,474
機械・運搬具	4,653	4,705
土地	11,374	11,160
その他	1,158	1,195
減価償却累計額	△10,990	△11,141
有形固定資産合計	15,631	15,394
無形固定資産		
	69	63
投資その他の資産		
投資有価証券	3,631	3,704
繰延税金資産	53	39
その他	416	1,442
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	4,065	5,149
固定資産合計	19,766	20,607
資産合計	58,221	58,516

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,583	5,629
買掛金	513	419
短期借入金	72	828
未払法人税等	953	936
未成工事受入金	642	1,371
賞与引当金	398	393
役員賞与引当金	70	—
完成工事補償引当金	122	105
工事損失引当金	0	87
その他	1,572	1,903
流動負債合計	11,929	11,674
固定負債		
長期借入金	1,042	250
退職給付に係る負債	832	747
役員退職慰労引当金	379	371
繰延税金負債	2,008	2,061
再評価に係る繰延税金負債	483	483
資産除去債務	16	16
その他	57	53
固定負債合計	4,818	3,984
負債合計	16,748	15,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	1,002	1,005
利益剰余金	33,774	34,997
自己株式	△2,634	△2,624
株主資本合計	39,031	40,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	883	997
土地再評価差額金	958	958
為替換算調整勘定	338	351
退職給付に係る調整累計額	△5	5
その他の包括利益累計額合計	2,174	2,312
新株予約権	12	10
非支配株主持分	255	266
純資産合計	41,473	42,857
負債純資産合計	58,221	58,516

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
完成工事高	23,883	25,510
完成工事原価	19,377	20,975
完成工事総利益	4,506	4,535
販売費及び一般管理費	2,019	2,149
営業利益	2,487	2,385
営業外収益		
受取利息	20	22
受取配当金	69	76
不動産賃貸料	56	56
その他	31	94
営業外収益合計	177	249
営業外費用		
支払利息	5	7
不動産賃貸原価	28	30
為替差損	121	—
固定資産除却損	11	18
訴訟和解金	—	25
その他	24	7
営業外費用合計	191	88
経常利益	2,473	2,546
税金等調整前四半期純利益	2,473	2,546
法人税、住民税及び事業税	693	884
法人税等調整額	44	14
法人税等合計	737	898
四半期純利益	1,736	1,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,722	1,637



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,736	1,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	114
為替換算調整勘定	△239	13
退職給付に係る調整額	16	11
その他の包括利益合計	△317	138
四半期包括利益	1,419	1,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,405	1,775
非支配株主に係る四半期包括利益	14	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,473	2,546
減価償却費	172	265
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△7
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	87
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	△7
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△133	△92
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△68
受取利息及び受取配当金	△90	△98
支払利息	5	7
為替差損益 (△は益)	108	△12
売上債権の増減額 (△は増加)	△414	4,052
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△1,542	△23
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21	△87
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	171	729
仕入債務の増減額 (△は減少)	△474	△2,007
その他	△9	263
小計	272	5,547
利息及び配当金の受取額	89	97
利息の支払額	△5	△7
法人税等の支払額	△1,063	△839
営業活動によるキャッシュ・フロー	△706	4,798
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△619	—
定期預金の払戻による収入	542	324
投資有価証券の取得による支出	△320	△35
投資有価証券の売却及び償還による収入	17	185
有形固定資産の取得による支出	△664	△560
その他	△42	△625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,086	△709
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	—
長期借入れによる収入	1,150	—
長期借入金の返済による支出	△930	△36
自己株式の取得による支出	△545	△0
ストックオプションの行使による収入	13	11
配当金の支払額	△264	△413
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△976	△439
現金及び現金同等物に係る換算差額	△191	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,961	3,659
現金及び現金同等物の期首残高	15,325	13,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,363	16,736

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	21,681	2,202	23,883	—	23,883
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	113	113	(113)	—
計	21,681	2,315	23,996	(113)	23,883
セグメント利益	2,379	58	2,438	48	2,487

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	23,547	1,963	25,510	—	25,510
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	59	76	(76)	—
計	23,564	2,022	25,586	(76)	25,510
セグメント利益	2,317	19	2,336	48	2,385

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

a. 受注高

区 分	平成29年3月期 第2四半期		平成30年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成29年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	22,557	91.9	25,924	92.1	3,366	42,443	86.0
ボイラ事業	1,983	8.1	2,235	7.9	252	6,904	14.0
合 計	24,541	100.0	28,160	100.0	3,619	49,348	100.0

b. 売上高

区 分	平成29年3月期 第2四半期		平成30年3月期 第2四半期		対前年同期 増減	平成29年3月期	
	金額 (百万円)	%	金額 (百万円)	%		金額 (百万円)	%
建設工事業	21,681	90.8	23,547	92.3	1,866	46,302	89.5
ボイラ事業	2,202	9.2	1,963	7.7	△238	5,413	10.5
合 計	23,883	100.0	25,510	100.0	1,627	51,715	100.0